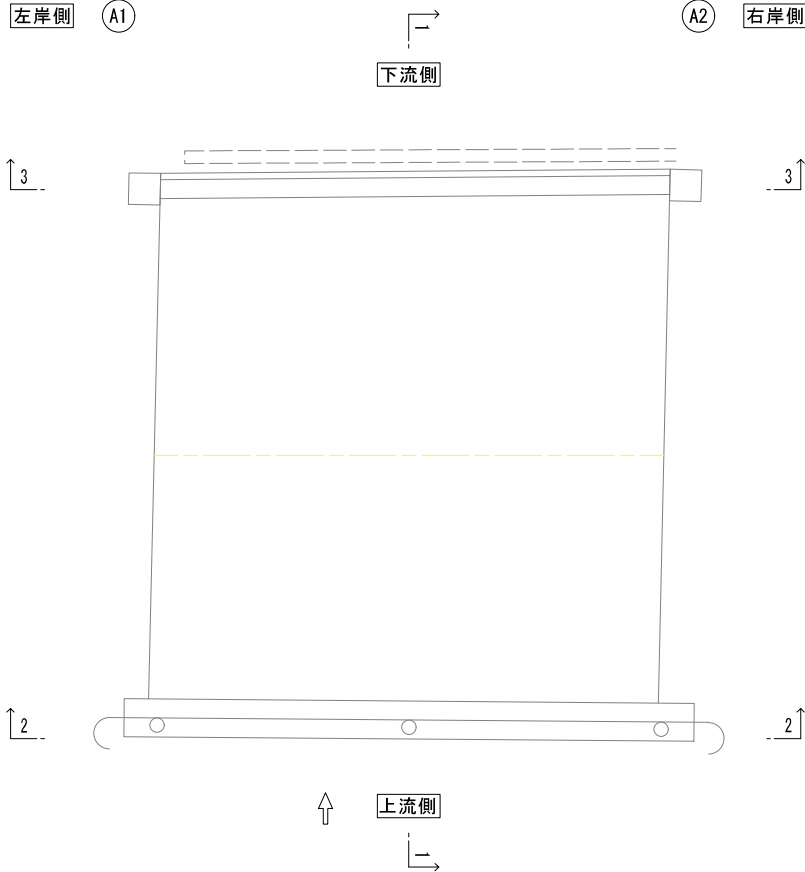


## 橋本平1号橋 既設橋梁一般図(その1)

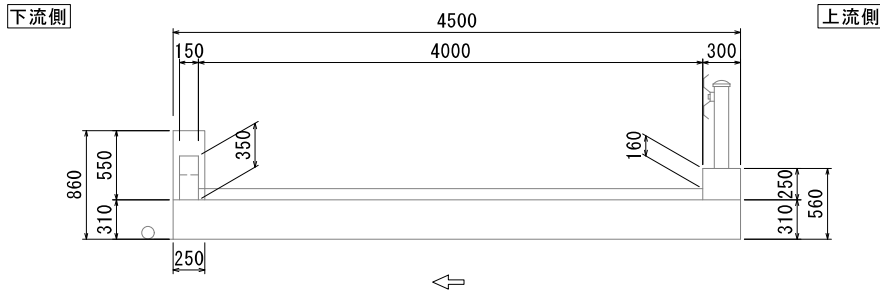
## 設計条件

路線名	乙原線
橋 格	車道橋
上部工構造	R0中実床版
下部工構造	重力式橋台
舗装構造	アスファルト舗装 (t=100mm)
径間数	1径間
橋 長	4.500m
桁 長	4.500m
支間長	-
幅 員	4.500m (全幅)
斜 角	90° 00' 00"
平面線形	R=∞
架設竣工年	1985年 (S60年)
添加物	なし
交差物件	水路

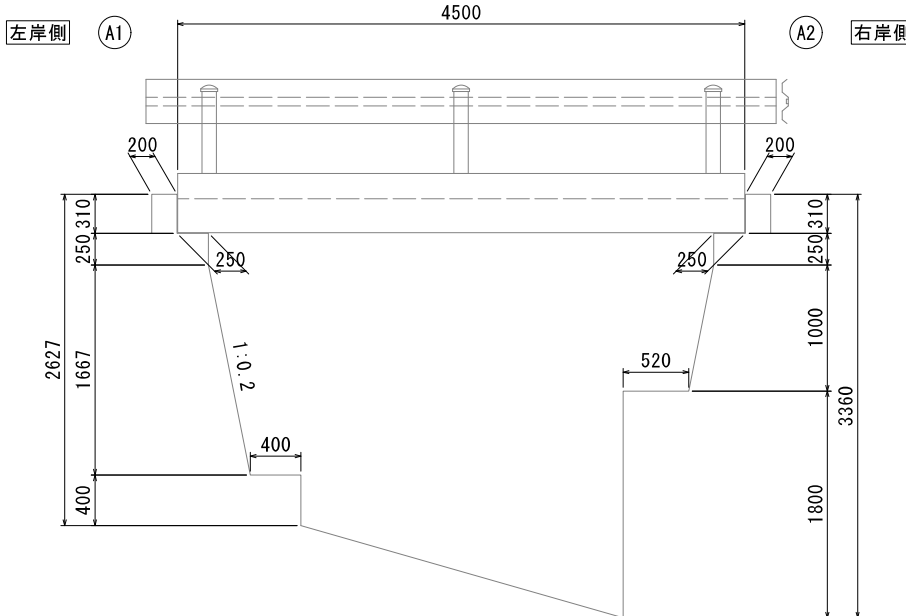
平面圖  
(橋面)



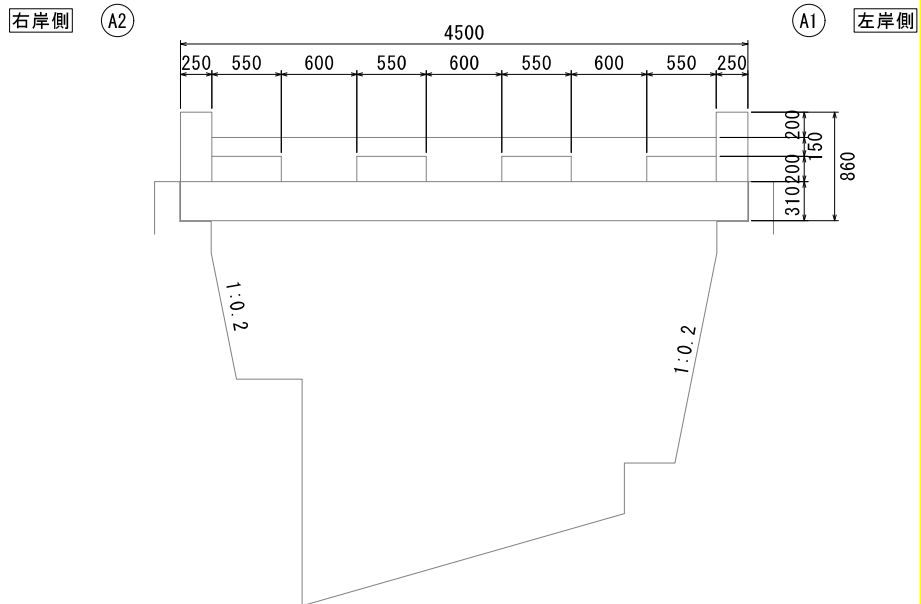
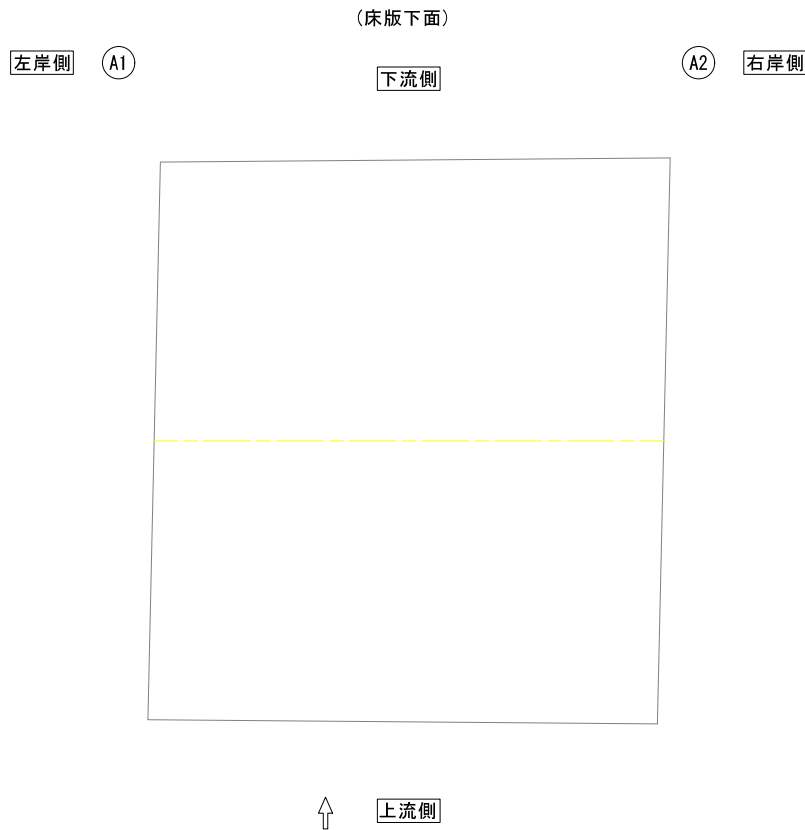
断面  
1-1



側面図  
2-2



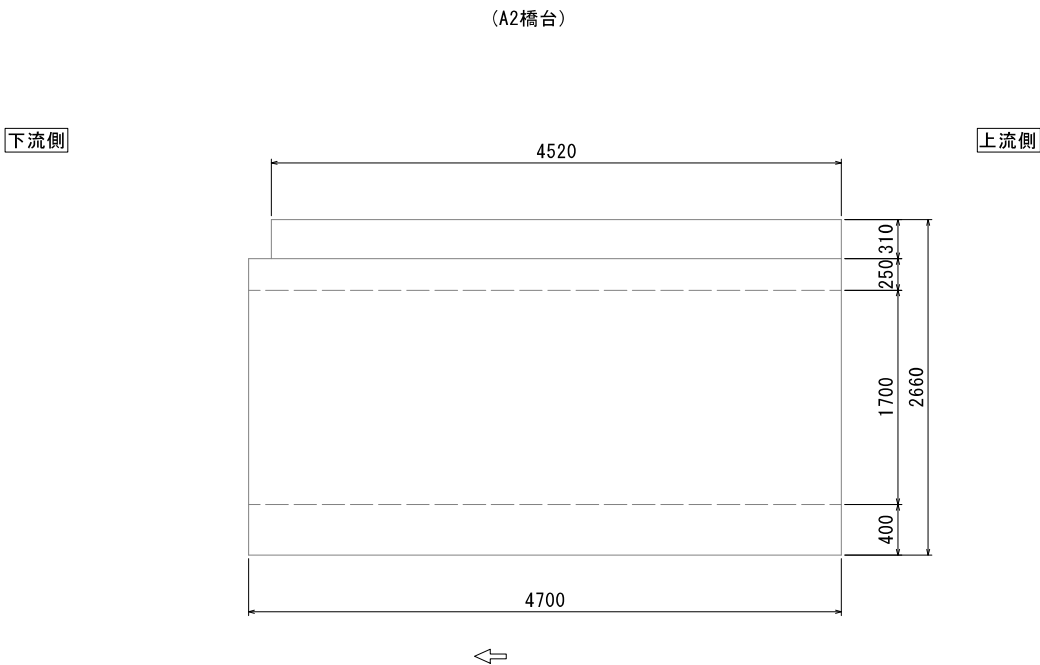
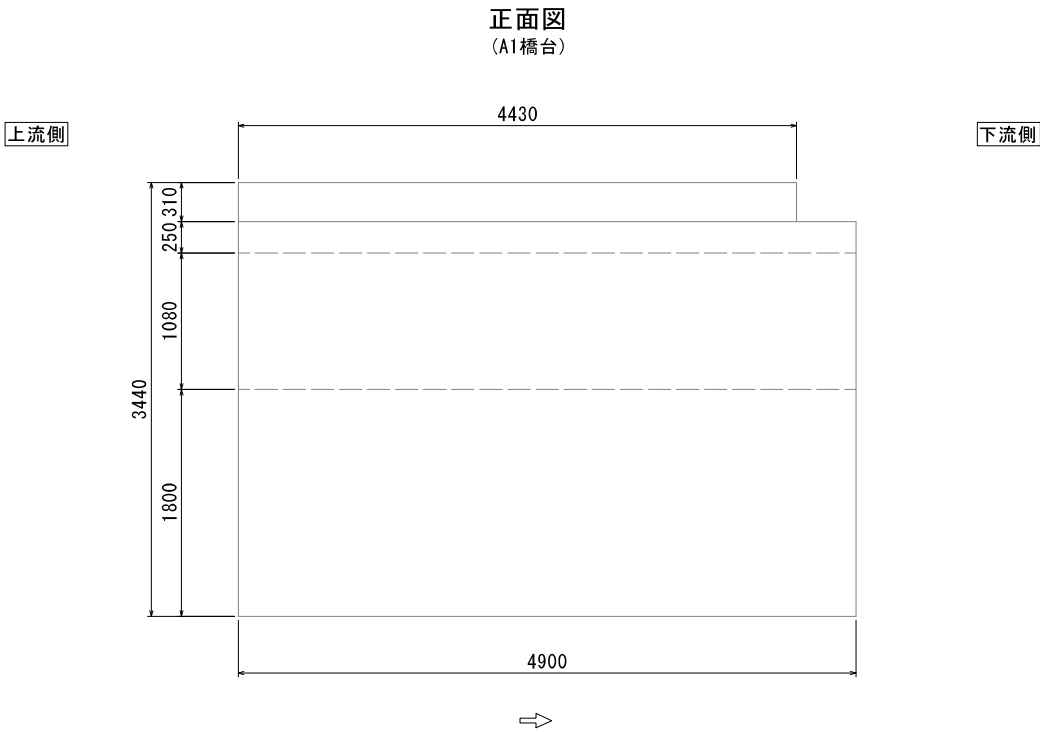
側面図  
3-3



## 橋本平1号橋

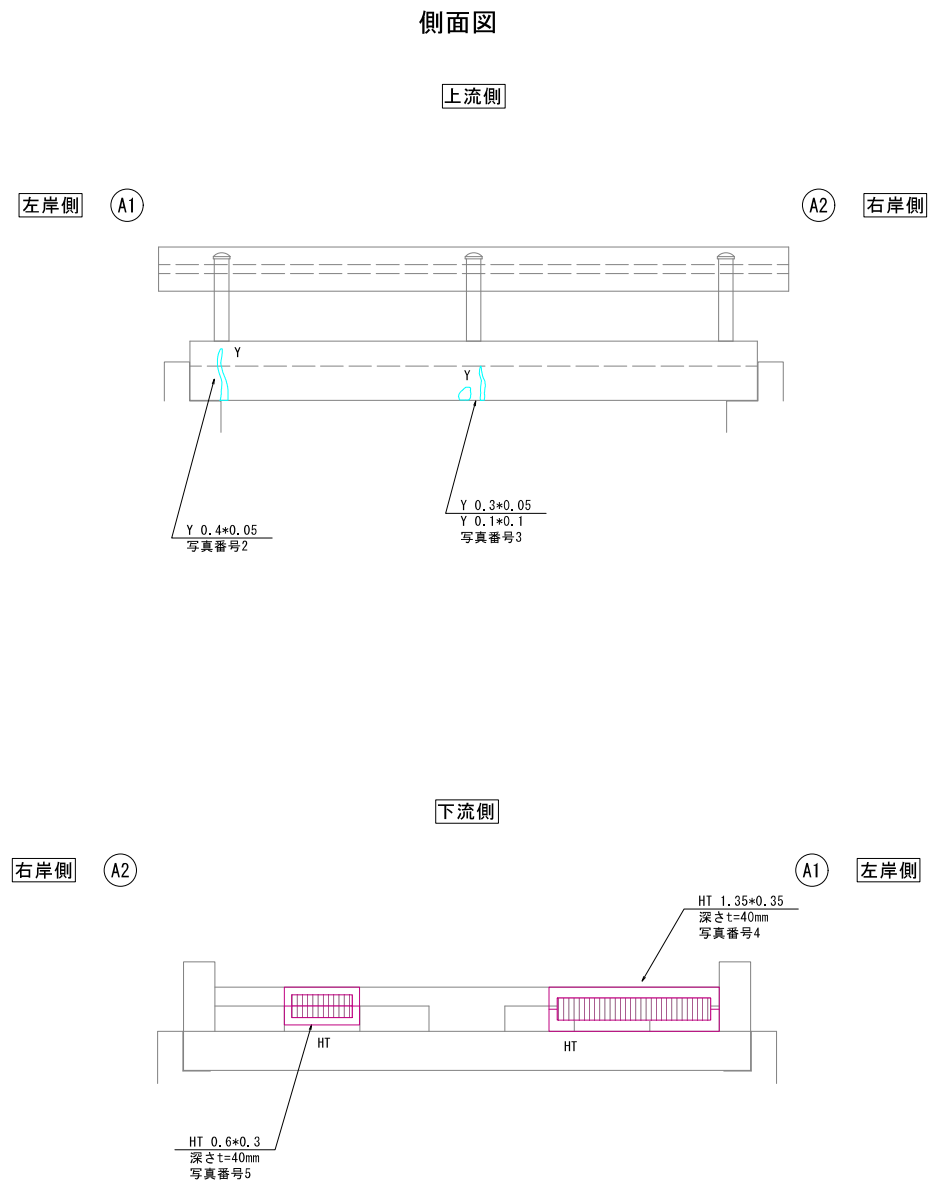
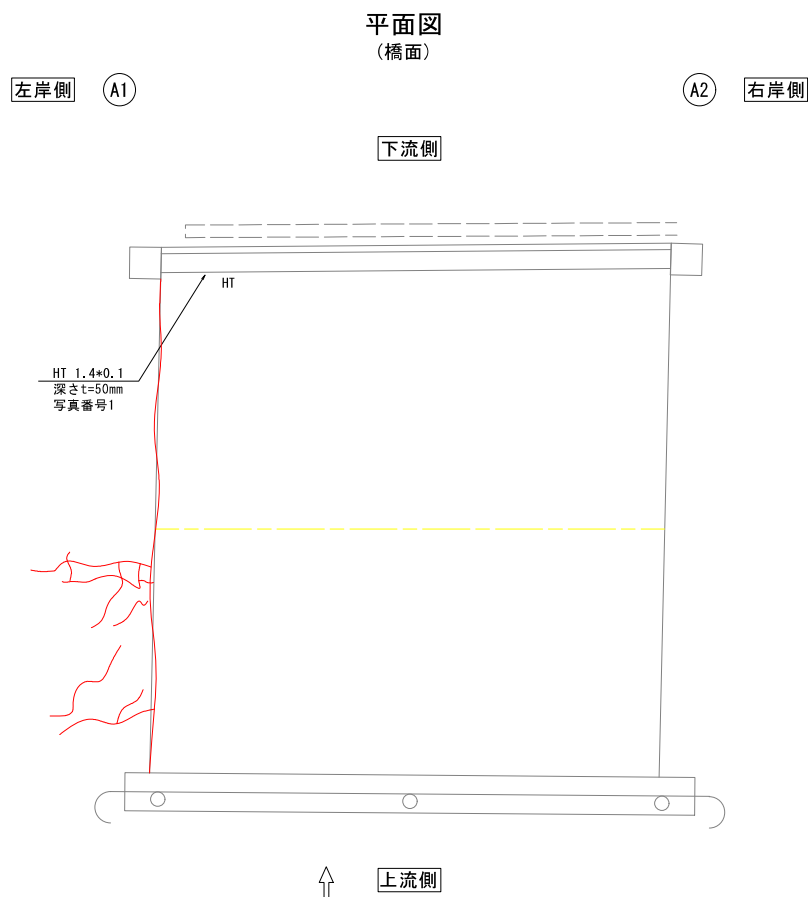
工事名	令和5年度橋樑構築架補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 既設橋梁一般図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	1 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 既設橋梁一般図(その2)



橋本平1号橋			
工事名	令和5年度繰越橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 既設橋梁一般図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	2 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 損傷図(その1)

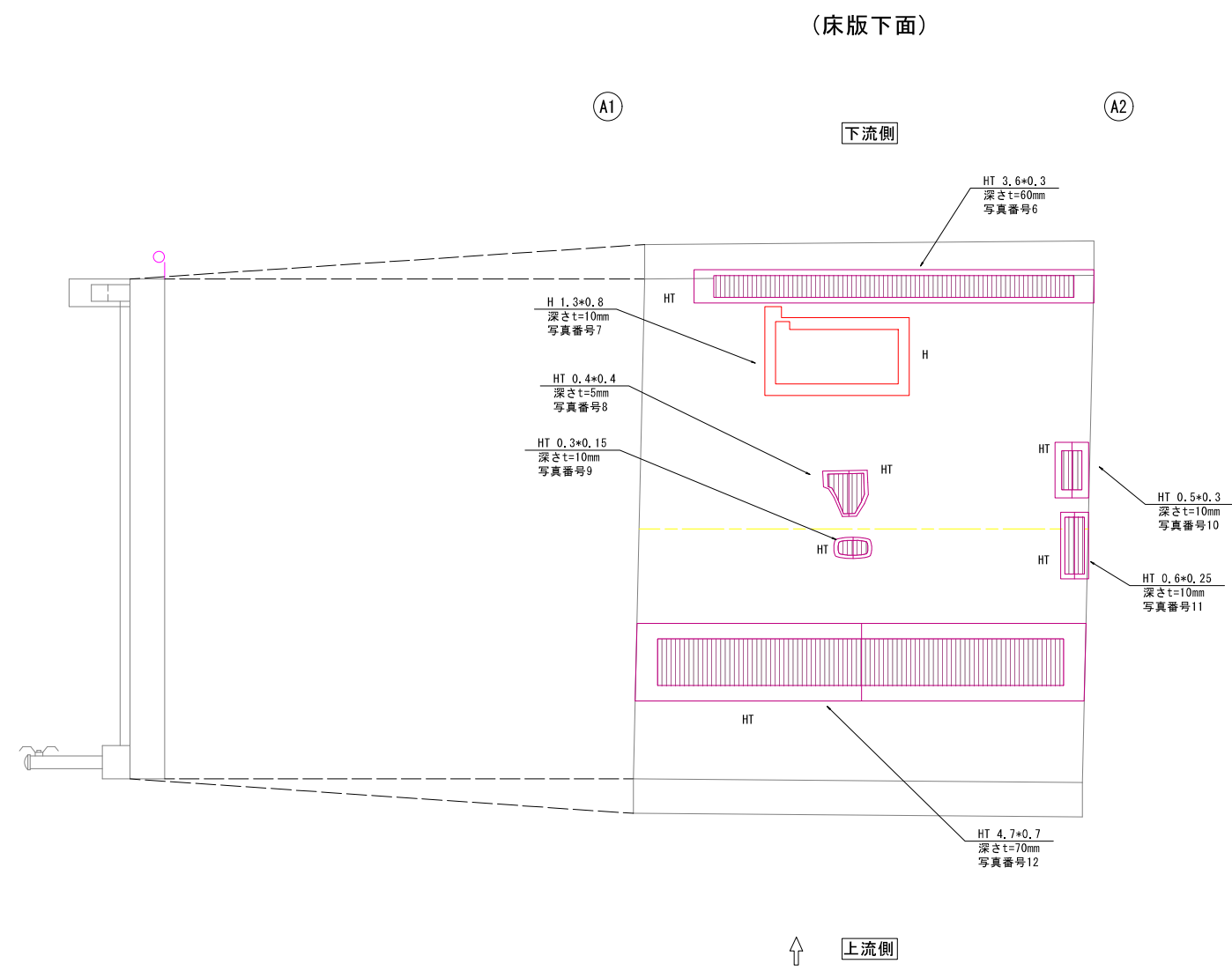


凡 例

C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)	HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)	R	漏 水
C	ひび割れ (1.0mm以上)	M	ジャンカ
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)	腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
U	コンクリートの浮き	その他	
H	コンクリートの剥離		

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 損傷図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	3 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 損傷図(その2)



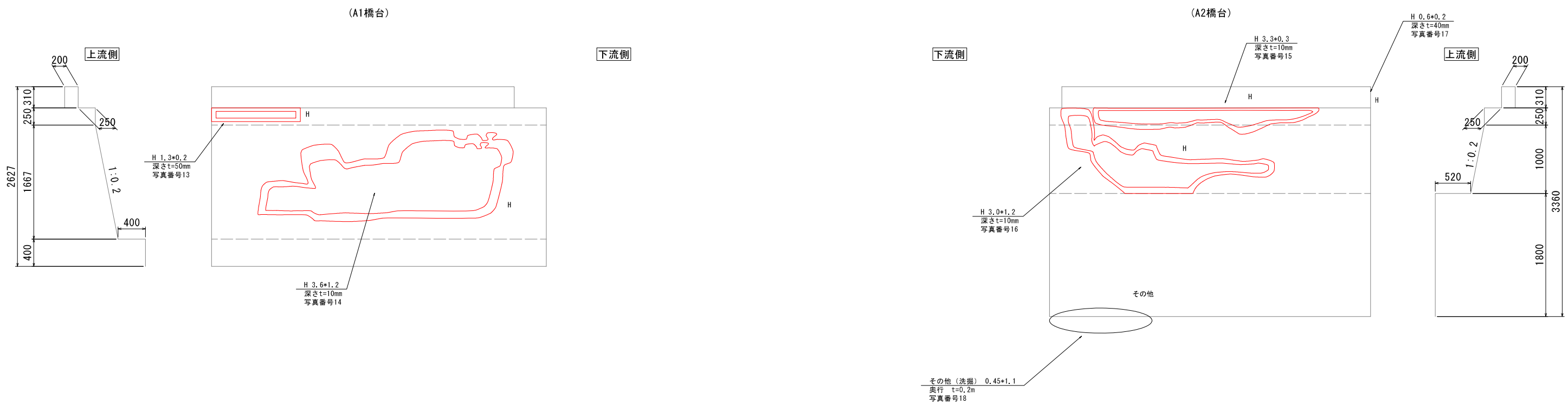
凡 例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)	HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)	R	漏 水
C	ひび割れ(1.0mm以上)	M	ジャンカ
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)	腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
U	コンクリートの浮き	その他	
H	コンクリートの剥離		

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 損傷図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	4 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 損傷図(その3)

正面図

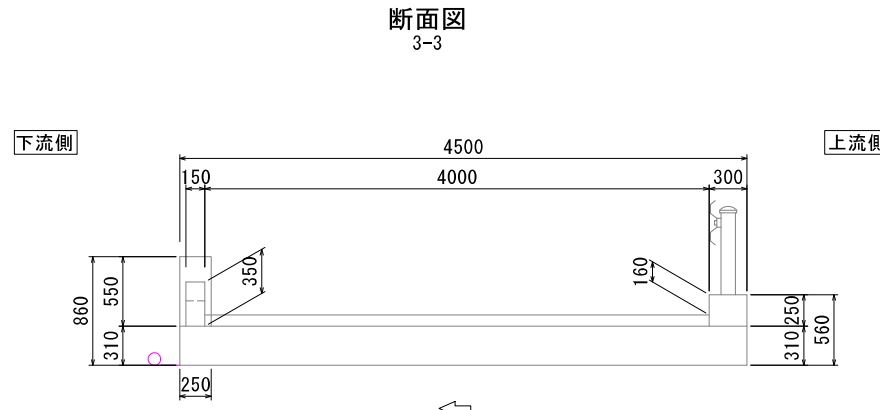
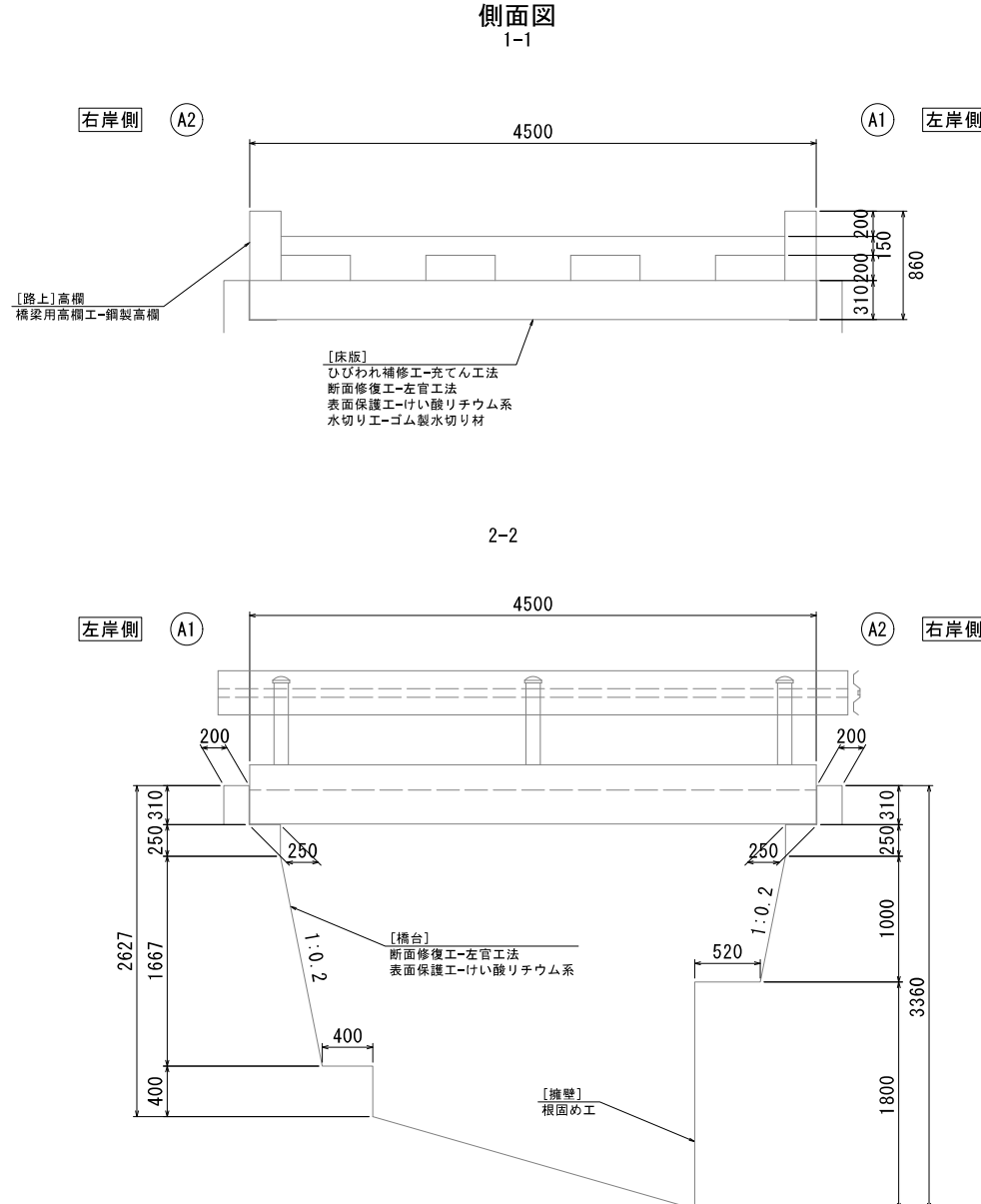
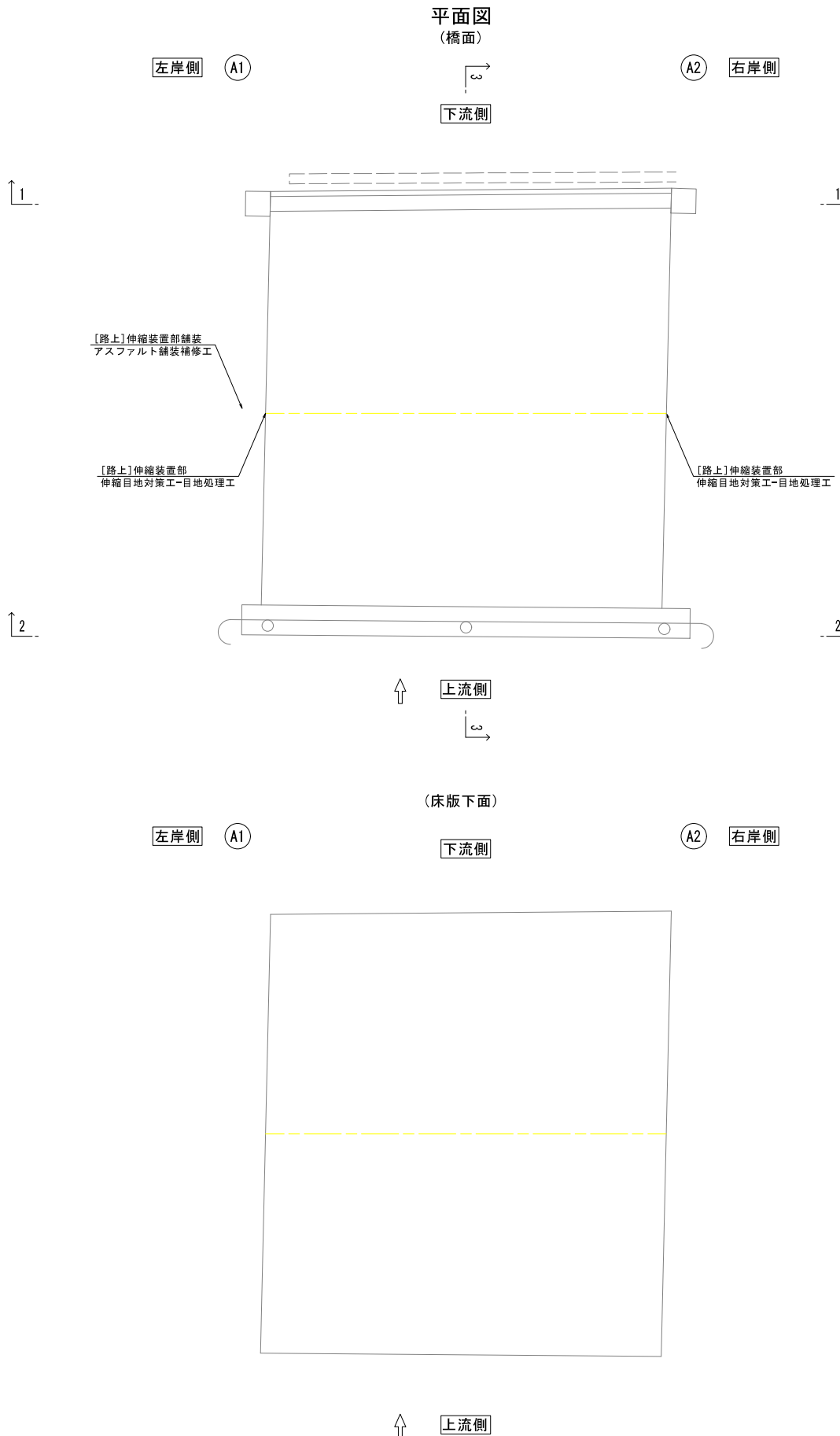


凡 例

	C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)		HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)		R	漏 水
	C	ひび割れ (1.0mm以上)		M	ジャンカ
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)		腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
	U	コンクリートの浮き		その他	
	H	コンクリートの剥離			

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 損傷図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	5 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

## 橋本平1号橋 補修計画一般図

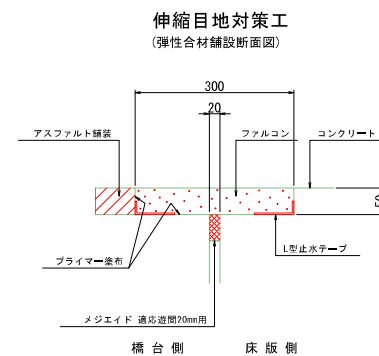
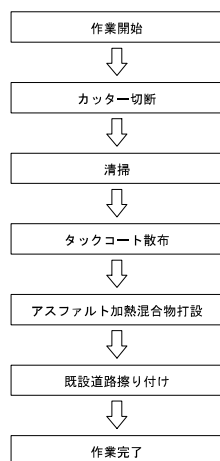
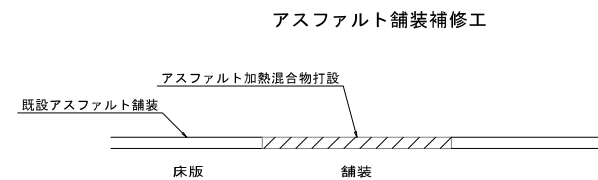
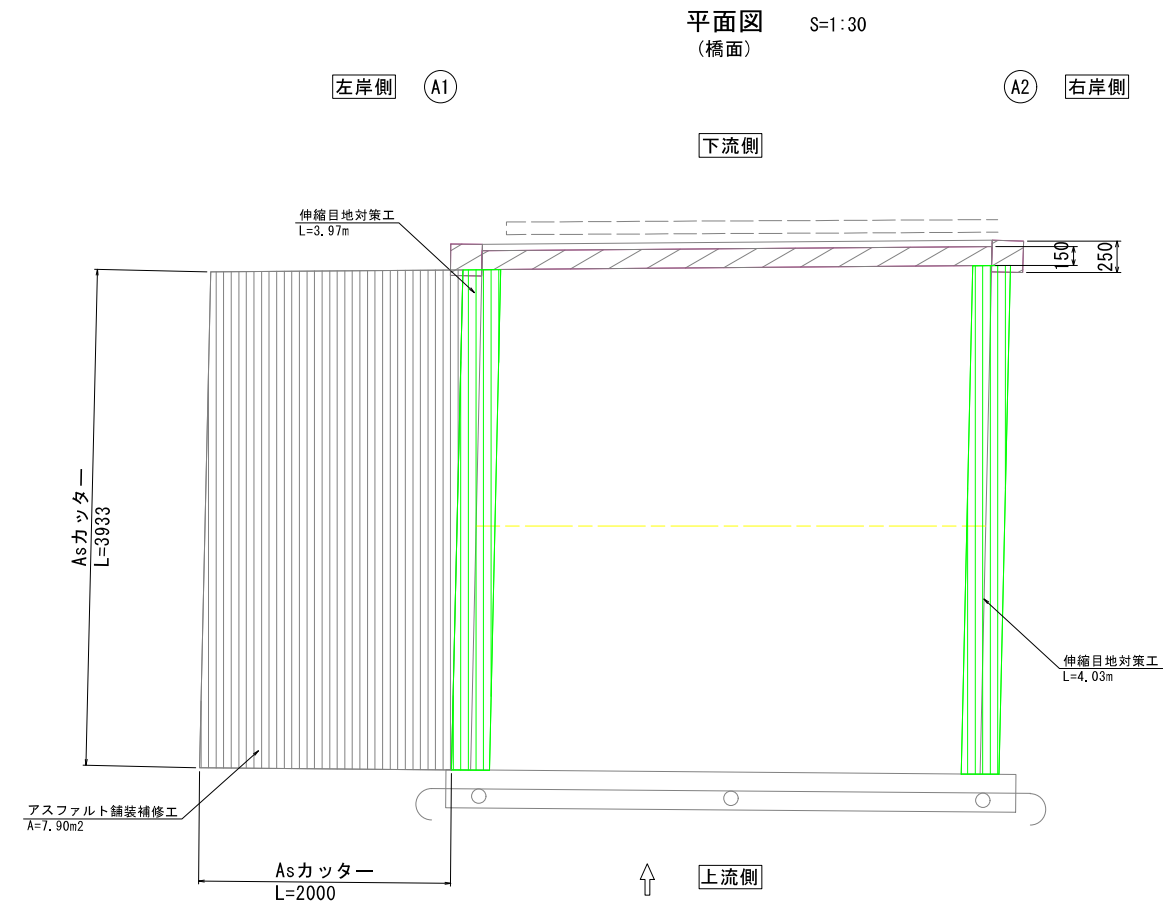


補修内容

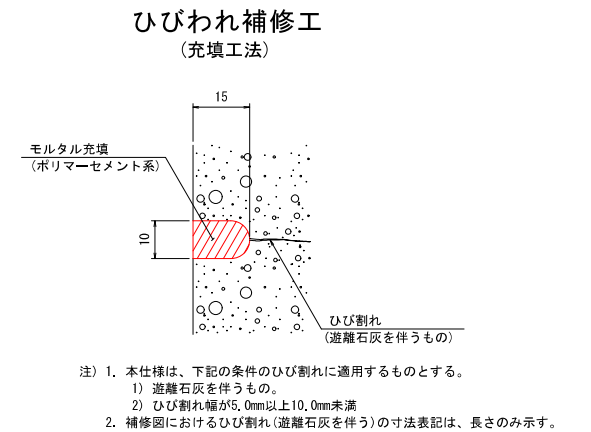
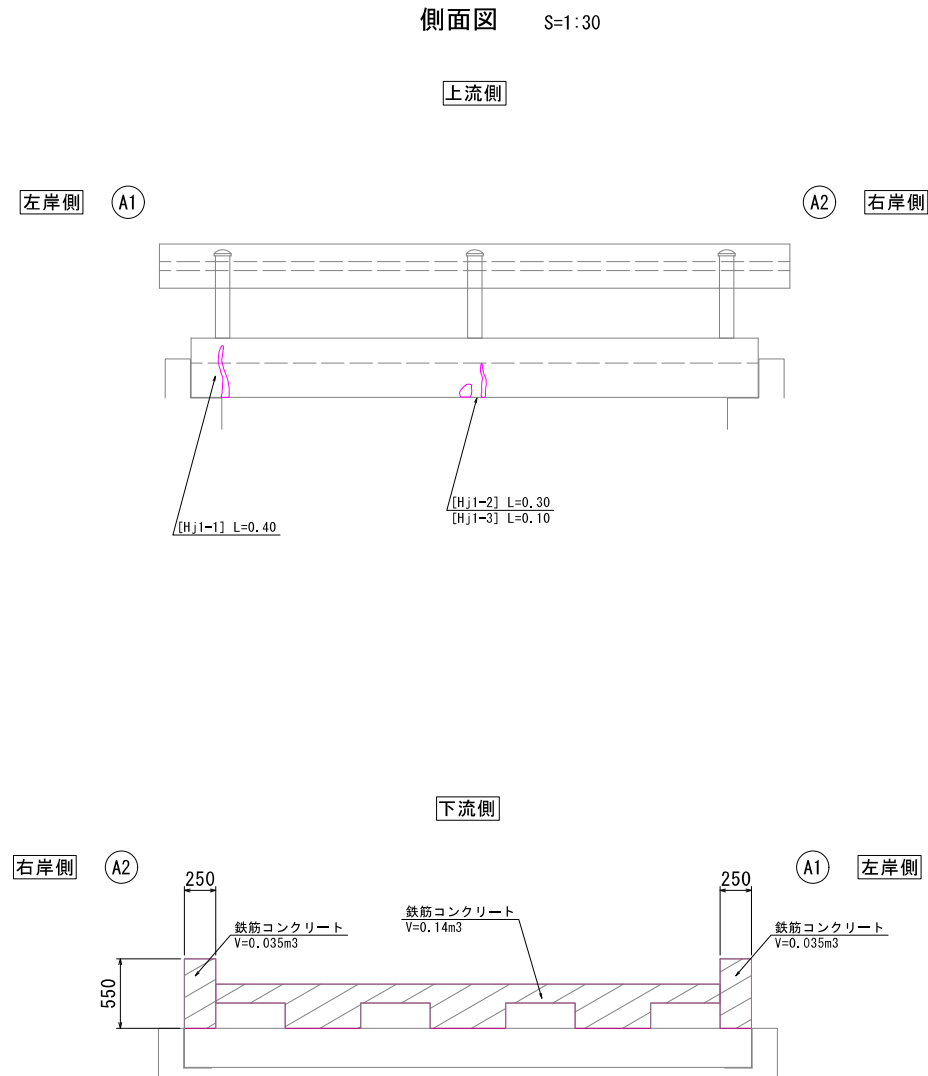
補修工法	部位-部材
ひびわれ補修工	床版
断面修復工	床版、橋台
表面保護工	床版、橋台
水切り工	床版
伸縮目地対策工	路上（伸縮装置部）
アスファルト舗装補修工	路上（伸縮装置部舗装）
橋梁用高欄工	路上（高欄）
根固め工	擁壁

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越橋橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 補修計画一般図		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	6 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		





## 橋本平1号橋 補修図(その1)



- 注1) 仕様・諸計法へ適応の可否は、現地で再調査及び照査の上、決定のこと。
- 注2) ファルコン舗設機尾部については、必要に応じて超硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
- 注3) ファルコンを舗設する際には、L型止水テープを使用すること。
- 注4) L型止水テープは施工箇所を囲むようにファルコン舗設幅分も設置すること。
- 注5) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。



## 凡 例

	ひびわれ補修工(充てん工法)
	伸縮目地対策工
	橋梁用高欄工(構造物取壊し)
	アスファルト舗装補修工

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 補修図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 補修図(その2)

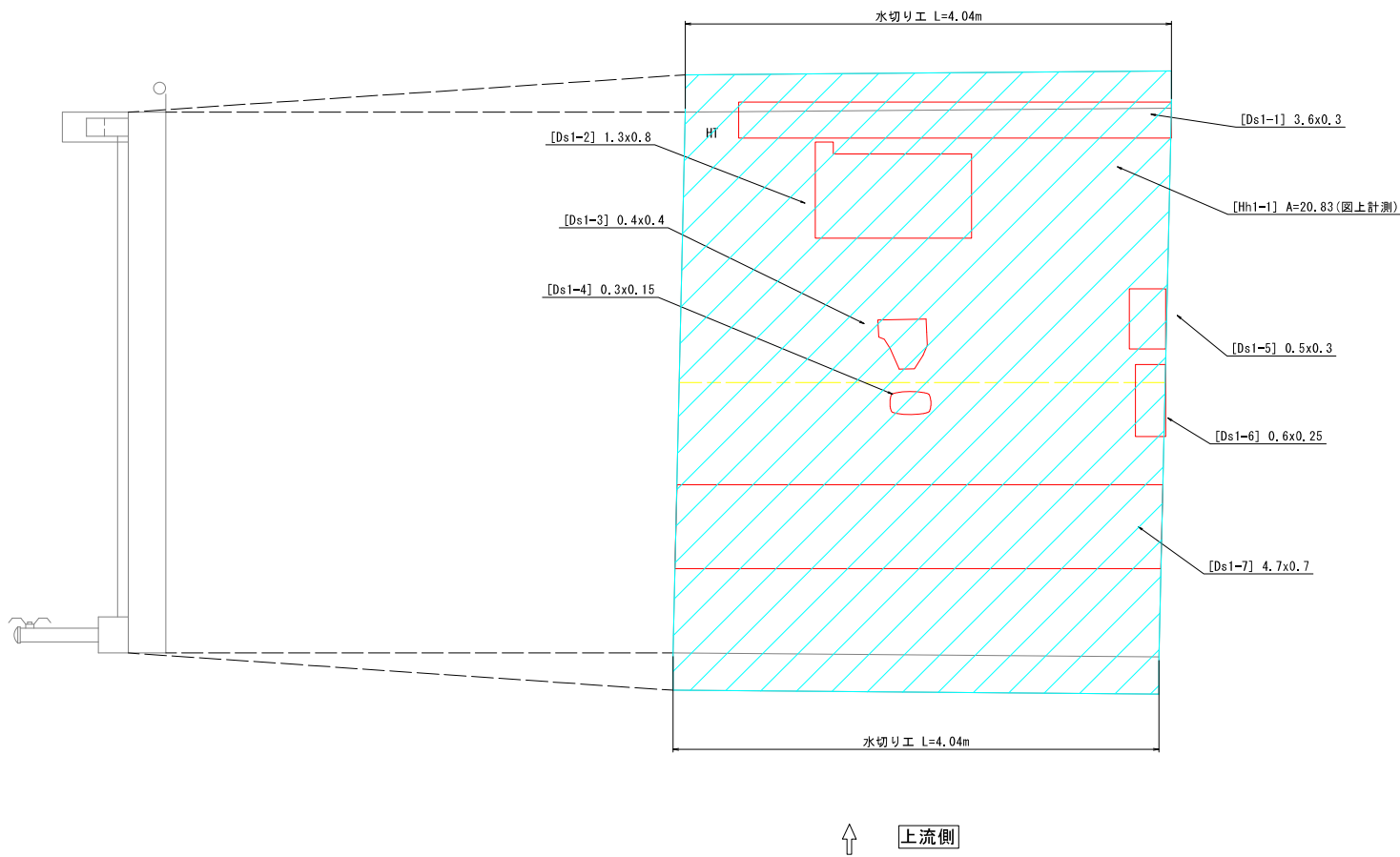
S=1:30

(床版下面)

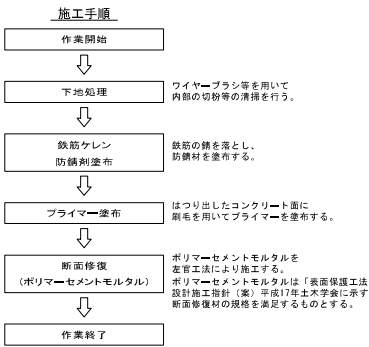
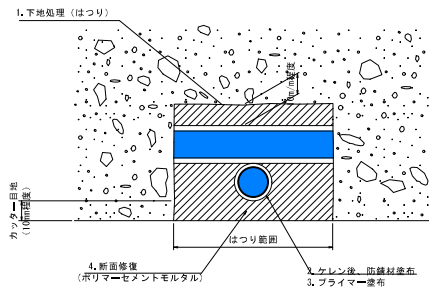
A1

A2

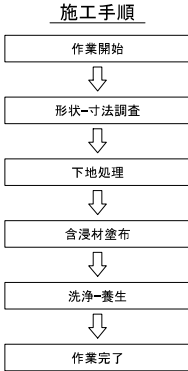
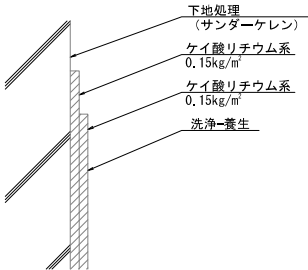
下流側



断面修復工  
(左官工法)

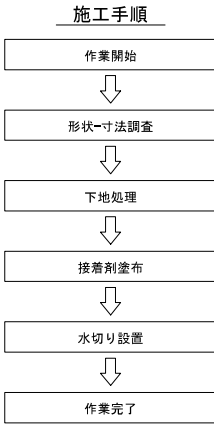
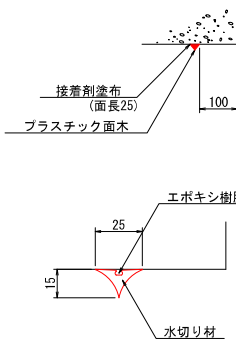


表面保護工  
(ケイ酸リチウム系表面含浸材)



- ※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

水切り工  
(後付け型水切り材)



- ※ 水切り設置面のコンクリートは、不陸のないよう調整を行うこと。

凡 例

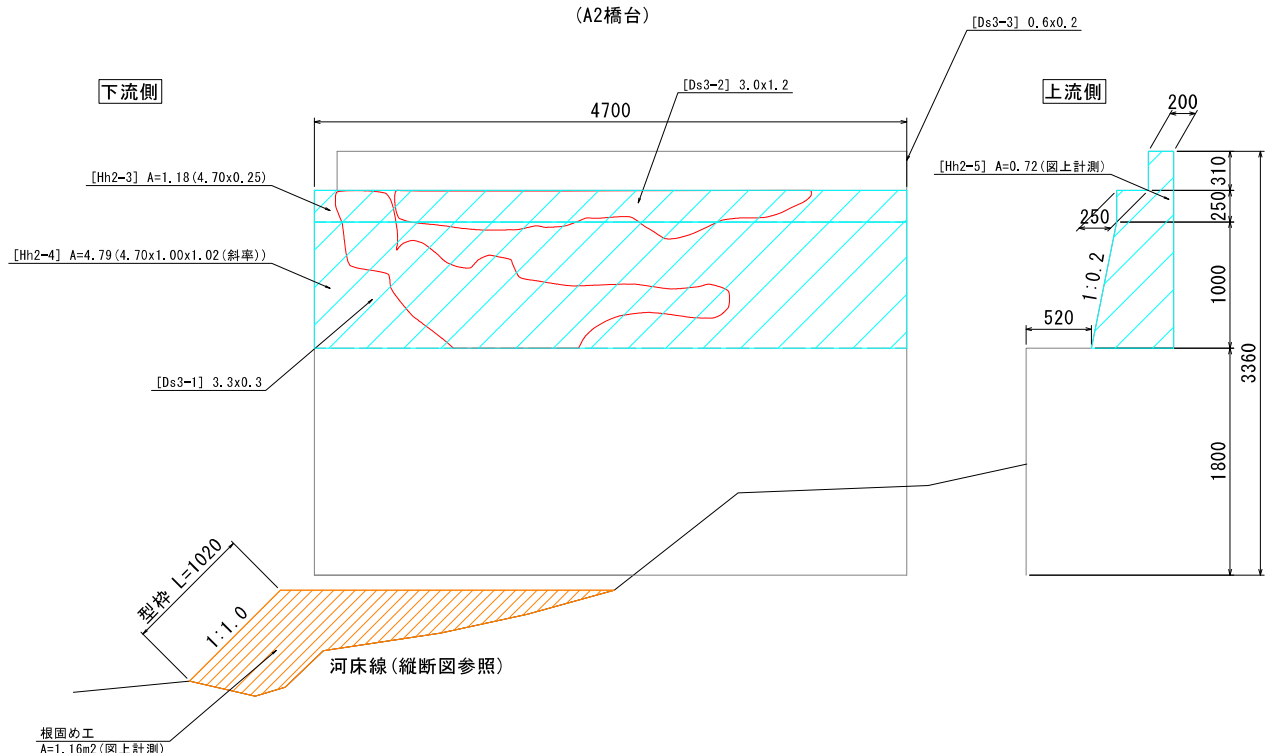
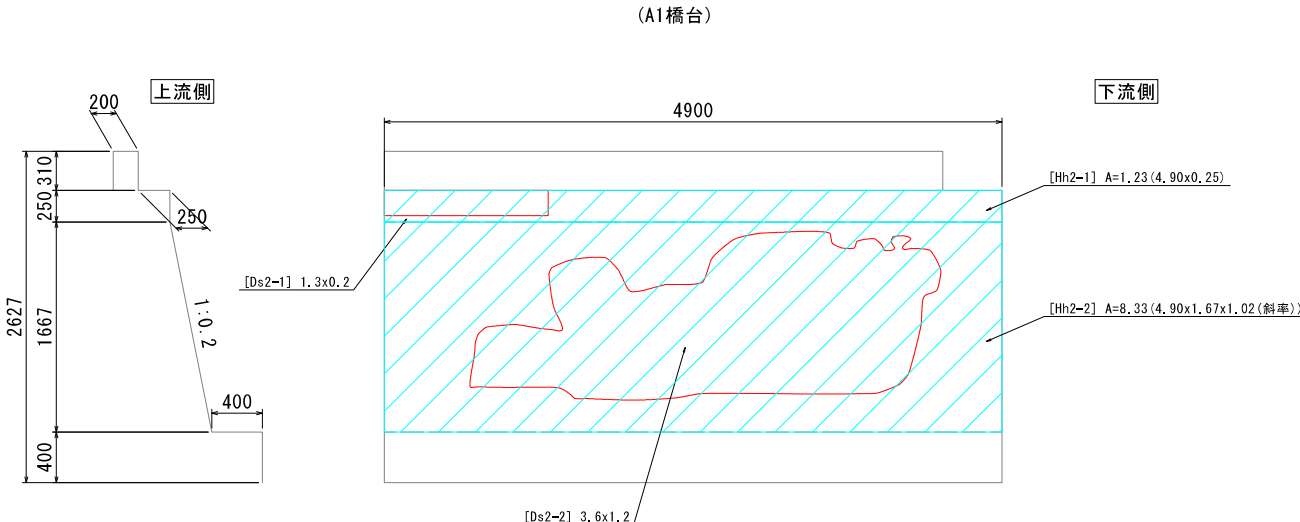
	断面修復工(左官工法)
	表面保護工(表面含浸工法)

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 補修図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

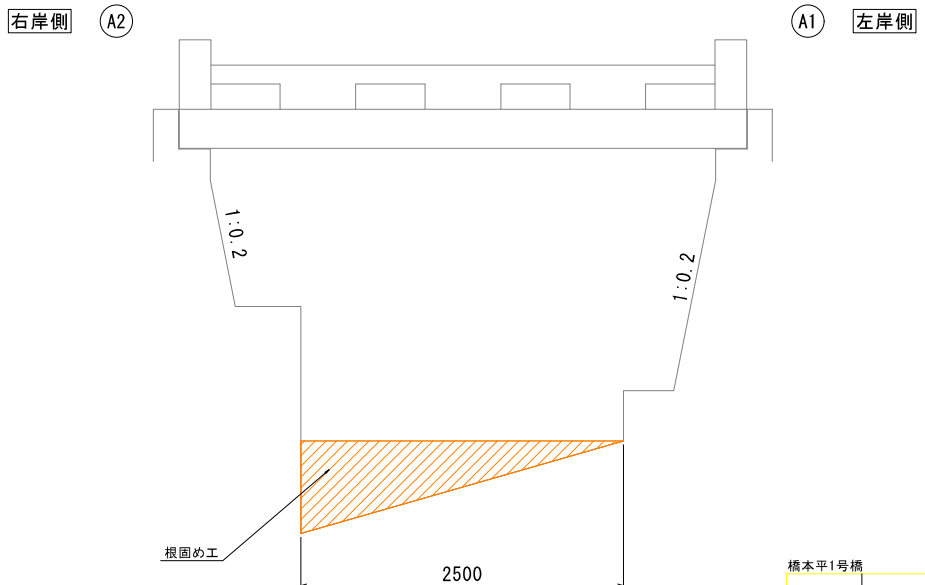


## 橋本平1号橋 補修図(その3)

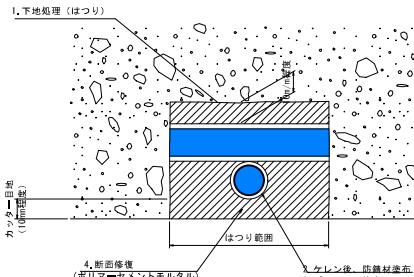
正面図 S=1:30



側面図 S=1:3

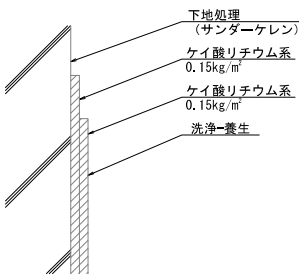


### 断面修復工 (左官工法)



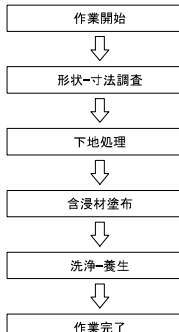
<p>※ 新断面図のつきおよび強化したコンクリートは除去すること。</p> <p>※ 断面修復工は、原型型を基本とする。</p> <p>※ 材料は、可仕度期限内に使用し、可仕度時間を超えたものについては使用しないこと。</p> <p>※ フェーザエッジの発生防止のため、コンクリートカッターによりリブ・リブ間を垂直に施工する。</p>	<p>(ポリマーセメントモルタル)</p> <p>ポリマーセメントモルタルは「素面保護工用設計仕様」指定、平成17年度土木学会に承認断面部建材の規格を満足するものとする。</p>
	<p>↓</p>
	<p>作業終了</p>

表面保護工  
(ケイ酸リチウム系表面含浸材)






- ※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/㎡以上とすること。
- ※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

## 施工手順



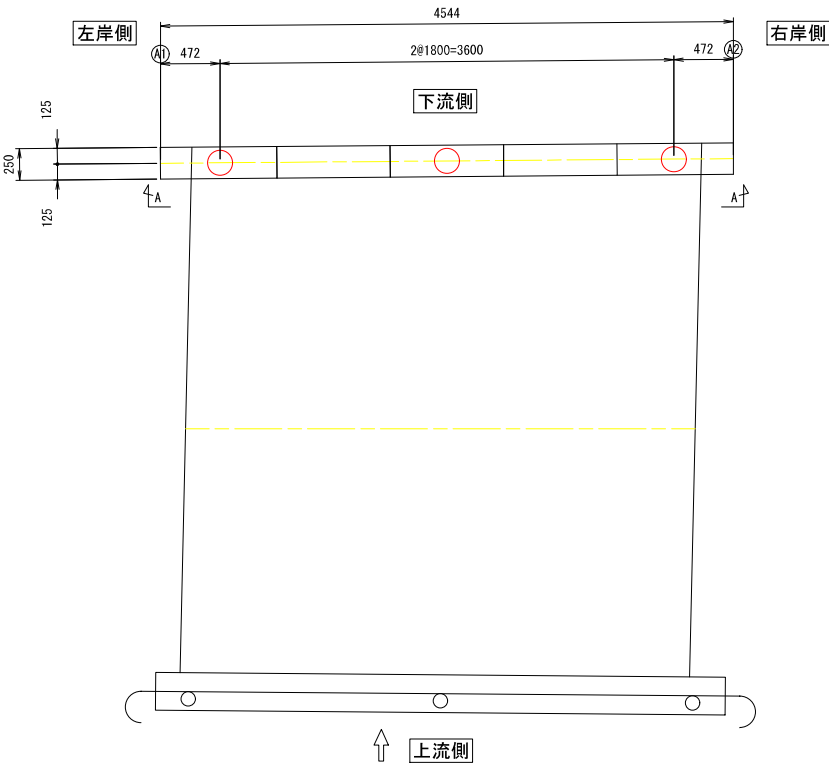
凡例

	断面修復工(左官工法)
	表面保護工(表面含浸工法)
	根固め工

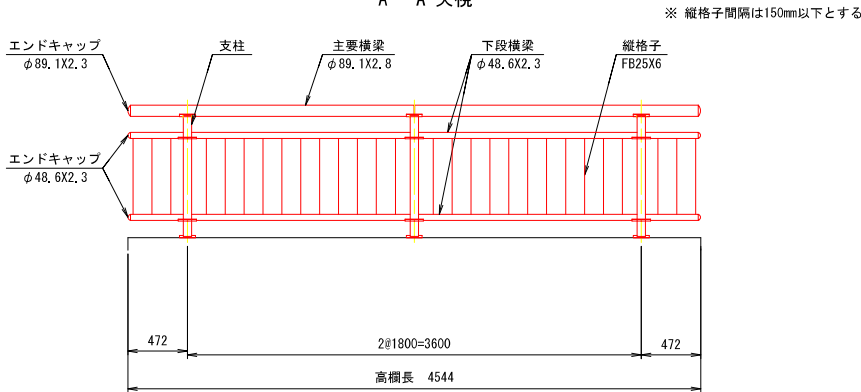
橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 補修図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 鋼製高欄詳細図

平面図 S =1/30  
(寸法線は主要横梁中心線上で実長を示す)

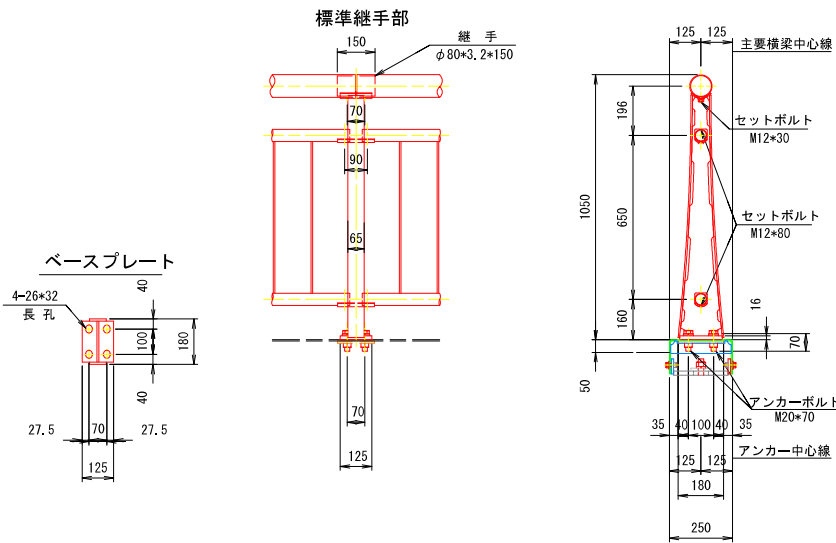


高欄取付図 S =1/30  
A - A 矢視



※ 縦格子間隔は150mm以下とする

高欄詳細図 S =1/30



材 料 表 (DSK-S-3SP-105KMS)

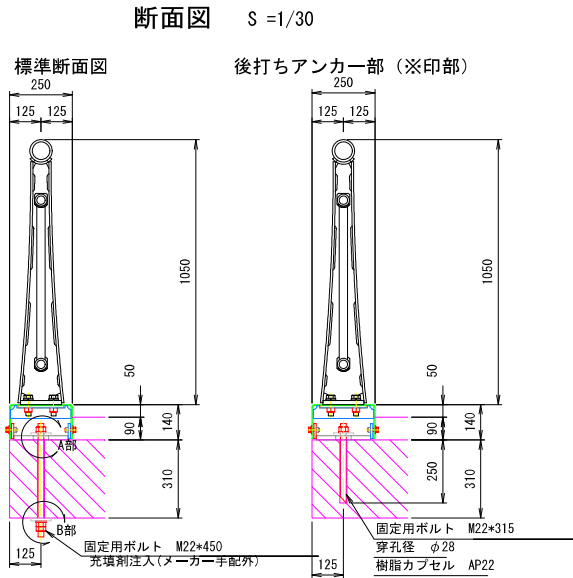
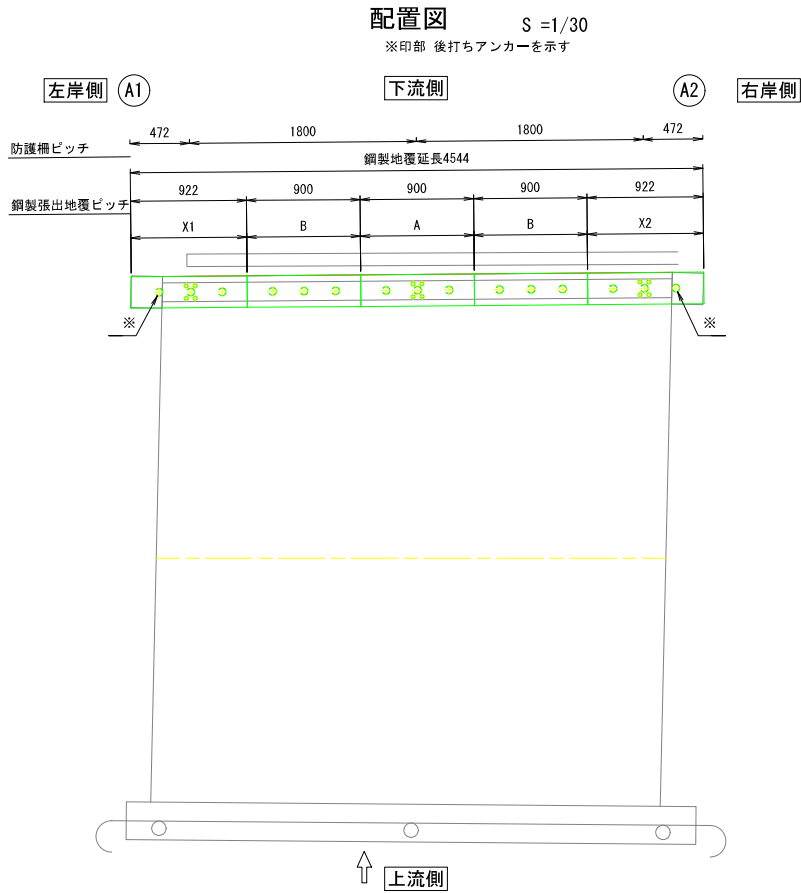
品 名	寸 法	材 質	数 量	単 重	重 量	備 考
支 柱	180X125	SS400	3	14.4 Kg/本	43	
主 要 横 梁	$\phi 89, 1X2, 8X2249, 5$	STK400	2	5.96 Kg/m	27	
下 段 横 梁	$\phi 48, 6X2, 3X1750$	STK400	4	2.63 Kg/m	18	
下 段 横 梁	$\phi 48, 6X2, 3X427$	STK400	4	2.63 Kg/m	4	
継 手	$\phi 80X3, 2X150$	STK400	1	6.06 Kg/m	1	
エンドキャップ	$\phi 89, 1X2, 3$	SPCC	2	0.22 Kg/コ	-	
エンドキャップ	$\phi 48, 6X2, 3$	SPCC	4	0.12 Kg/コ	-	
縦 格 子	FB25X6X608, 5	SS400	28	0.72 Kg/本	20	
セットボルト	M12X30 (B, W, SW)	4, 8以上	6	0.05 Kg/本	-	
セットボルト	M12X80 (B, N, W, SW)	4, 8以上	12	0.12 Kg/本	1	
アンカーボルト	M20X70 (B, W, SW)	4, 6以上	12	0.22 Kg/本	3	
					$\Sigma =$ 117 kg	
高 欄 長 = 4544						

注 記

1. 表面処理 - - 亜鉛めっき
2. 支柱の製作勾配 - - 0%

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度越後橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 鋼製高欄詳細図		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	10 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 鋼製地覆詳細図(その1)



鋼製地覆数量表

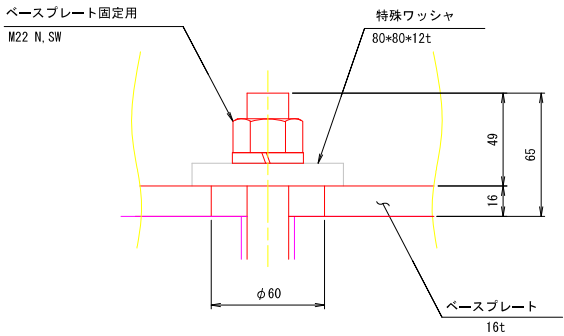
品 番	製品長 (mm)	数 量	延長 (m)	記 事
A	900	1	0.900	支柱部, 標準部
B	900	2	1.800	支柱間部, 標準部
X1, X2	922	2	1.844	支柱部, 端末部, EP付
合計		5	4.544	

- ※ 表面処理 : 溶融亜鉛めっき  
※ 端末部にはエンドプレート取付け  
※ 固定用アンカーボルトとの干渉回避のため床版内を照査し、現地確認後、製作のこと

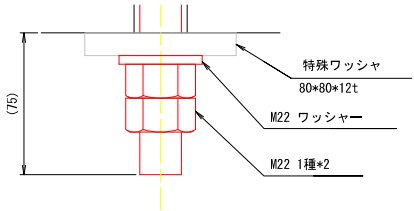
鋼製地覆重量表

品 番	製品重量 (kg/ヶ)			数 量	合計重量 (kg)	記 事
	ベース部	カバー部	合計			
A	33	20	53	1	53	支柱部, 標準部
B	30	18	48	2	96	支柱間部, 標準部
X1, X2	33	20	53	2	106	支柱部, 端末部, EP付
合計				5	255	
M22*450 B, N (1種*3), W, SW				13本	22kg	強度区分 : 4.6以上
M22*315 B, N (1種*1) (後打ちアンカー)				2本	2kg	強度区分 : 4.6以上
特殊ワッシャー						
PL80*80*12				28個	17kg	

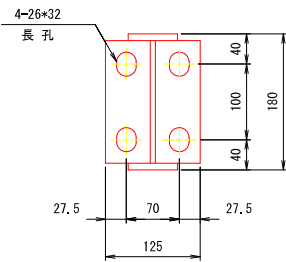
A部詳細図 S=1:2



B部詳細図 S=1:2



支柱固定孔詳細図 S=1:5  
(高欄側)

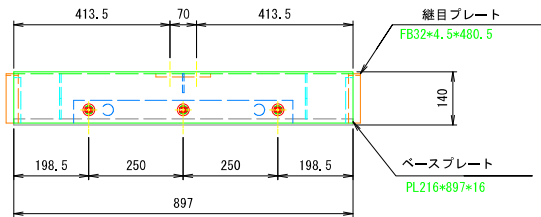
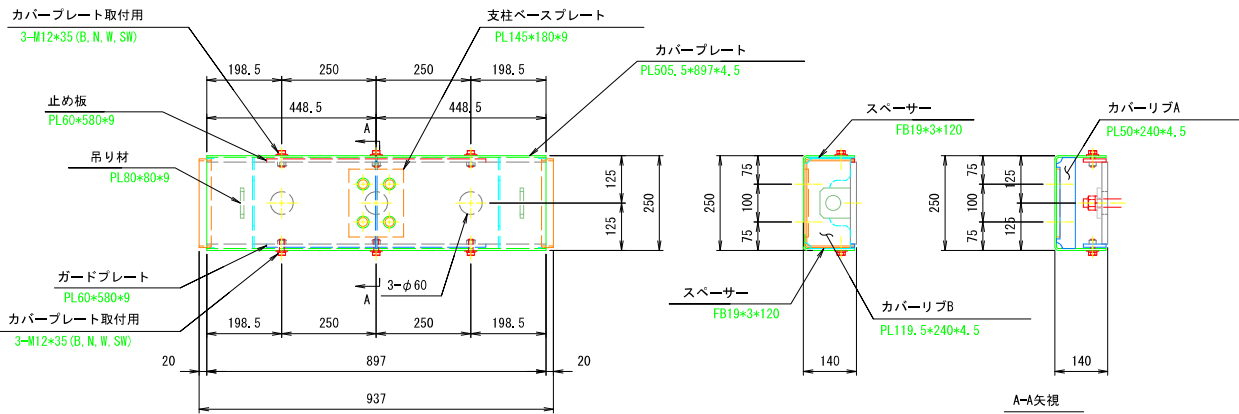


橋本平1号橋			
工事名	令和5年度線越橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 鋼製地覆詳細図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	11 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋本平1号橋 鋼製地覆詳細図(その2)

品番：A 支柱部

標準部

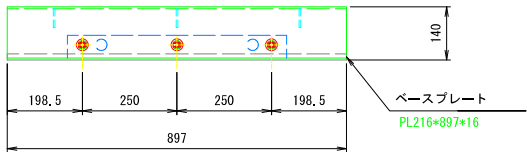
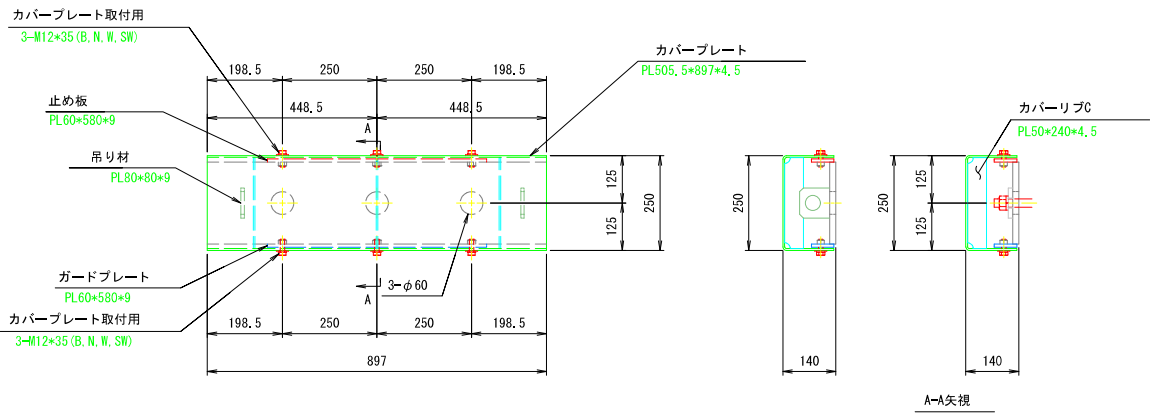


鋼製地覆重量

品 番	製品重量(kg/ヶ)		
	ベース部	カバー部	合計
A	33	20	53

品番：B 支柱間部

標準部

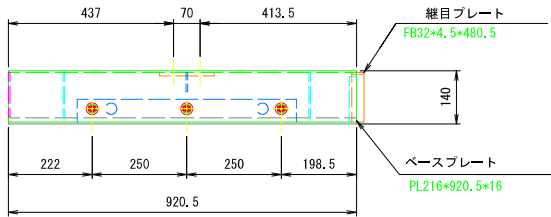
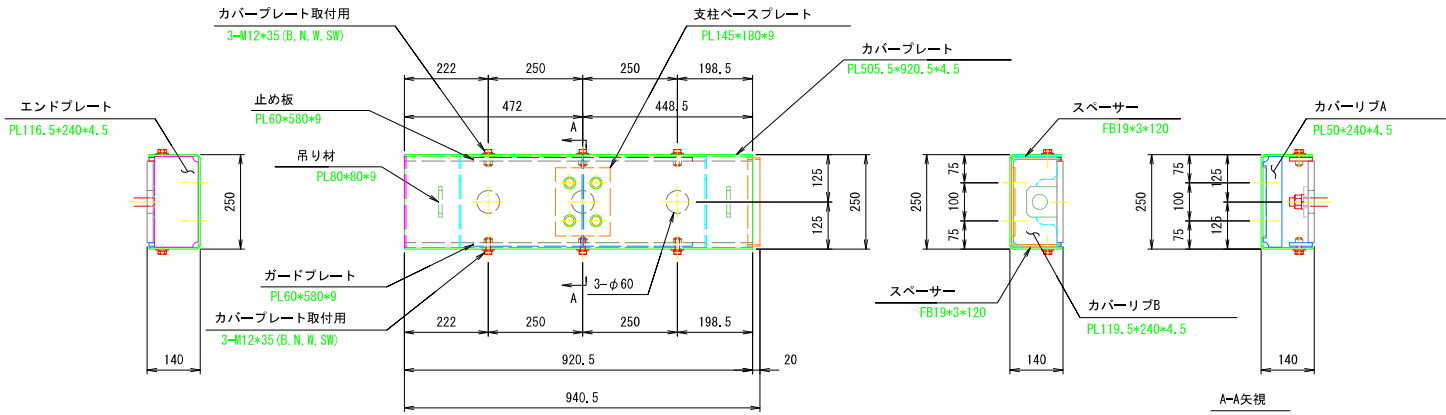


鋼製地覆重量

品 番	製品重量(kg/ヶ)		
	ベース部	カバー部	合計
B	30	18	48

品番：X1, (X2) 支柱部

端末部  
(品番X2は品番X1の鏡対称形)



鋼製地覆重量

品 番	製品重量(kg/ヶ)		
	ベース部	カバー部	合計
X1, X2	33	20	53

橋本平1号橋

工事名 令和5年度越前橋梁補修設計業務

図面名 橋本平1号橋 鋼製地覆詳細図(その2)

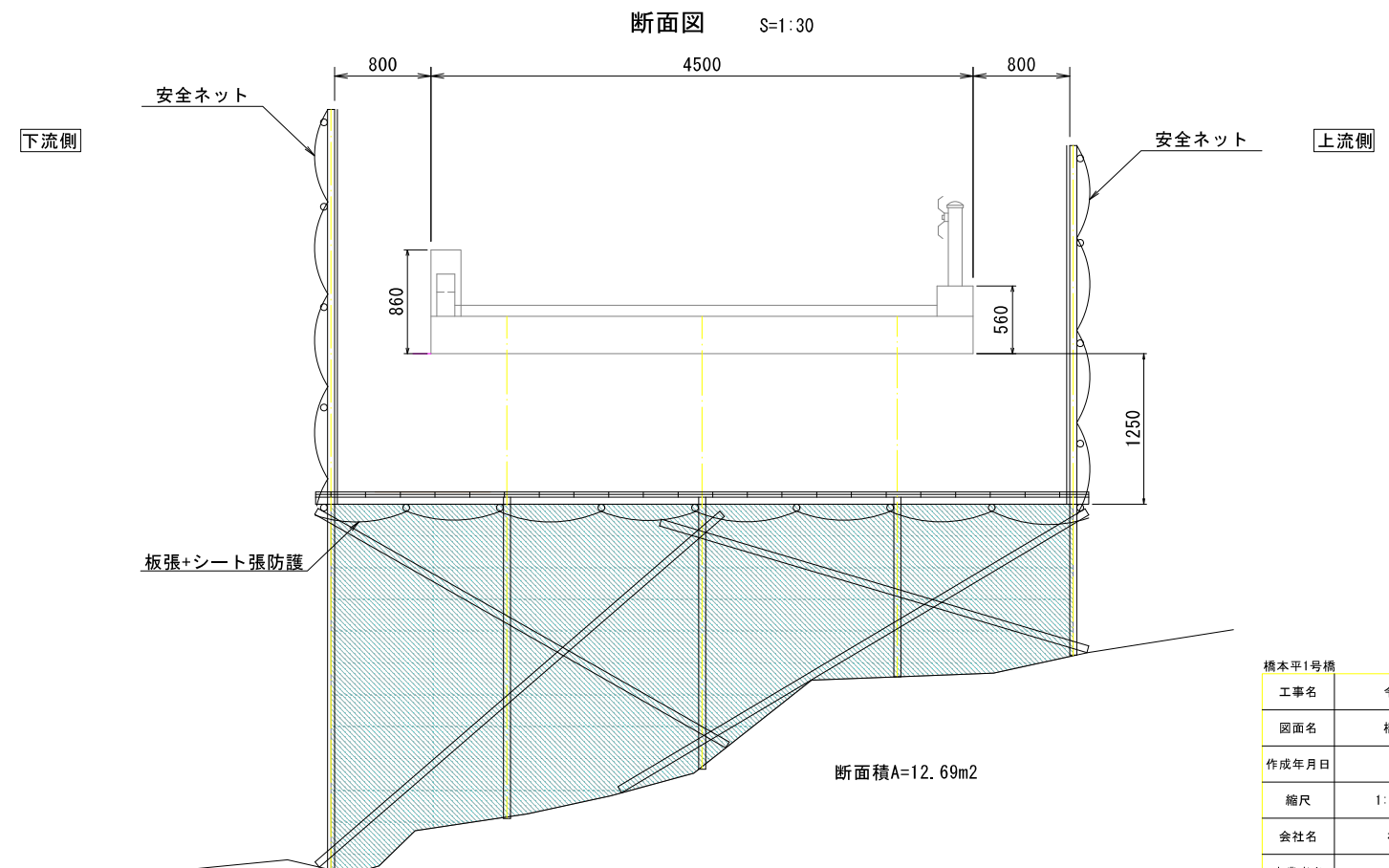
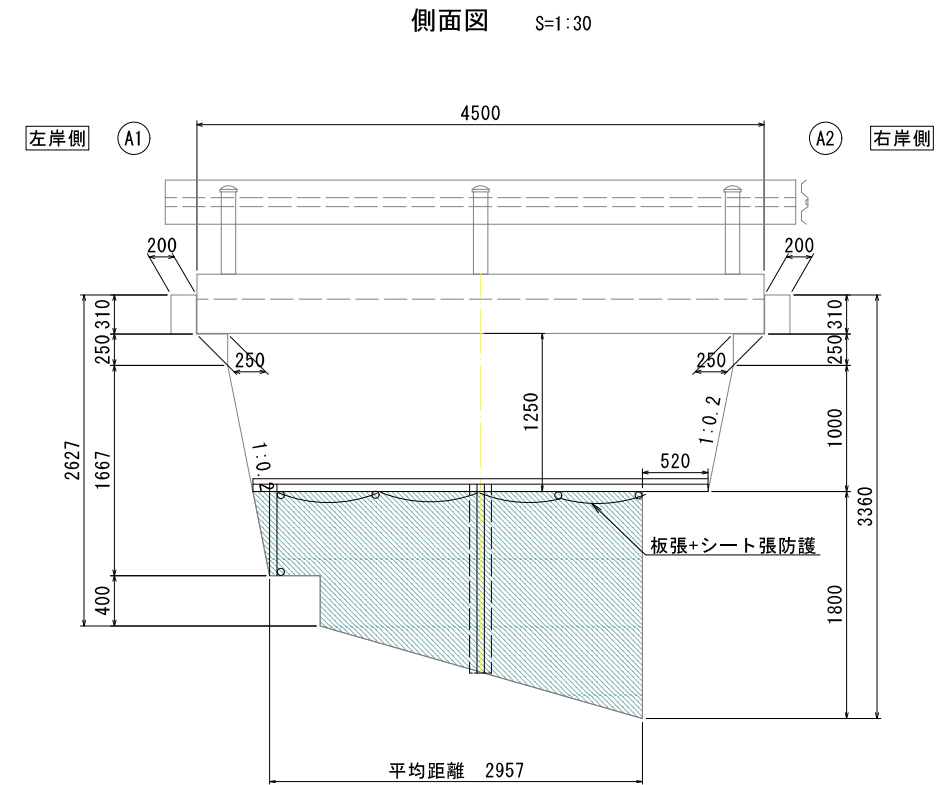
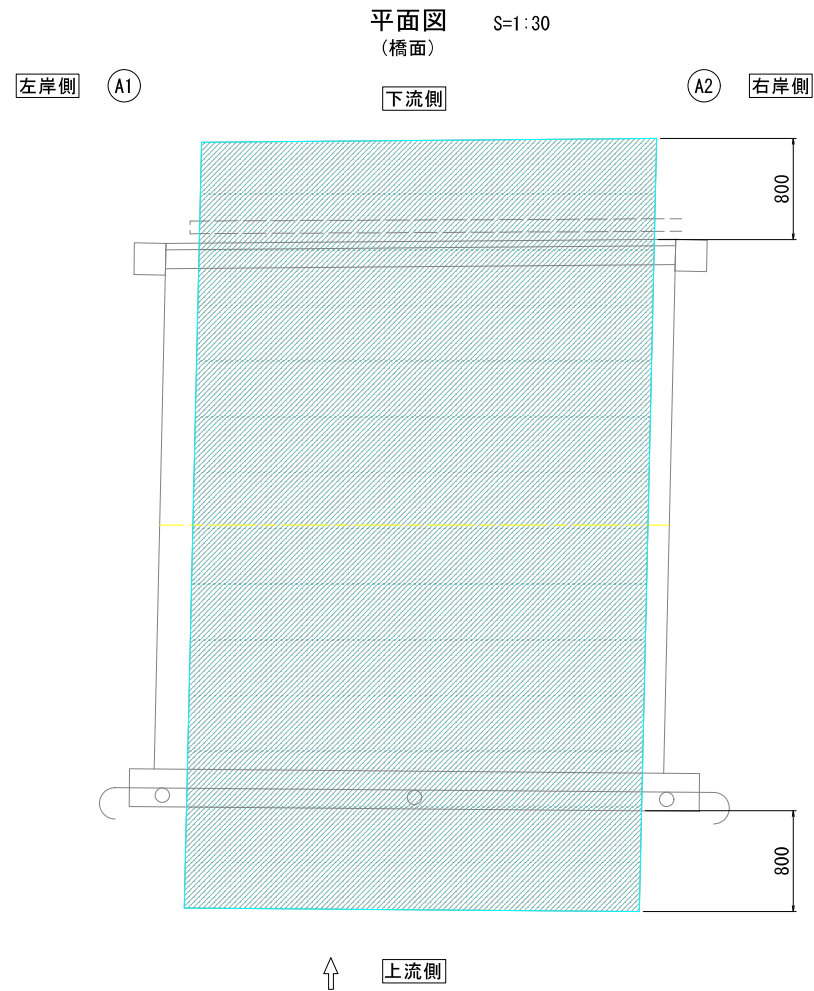
作成年月日 令和6年9月

縮尺 1:10 図面番号 12 / 16

会社名 相生エンジニアリング株式会社

事業者名 神石高原町 建設課

## 橋本平1号橋 足場工図(参考図)



足場工（支保工）			
位 置	単位	数 量	備 考
全体	空m3	37.52	板張, シート張防護

断面積x平均距離で算出

注)  
-設計段階の参考図であるため工事の際は発注者と協議を実施すること。  
-吊り足場資材搬入は橋面から想定しているため、交通規制を実施すること。

※鉛直パイプと水平パイプの各交点は直交クランプで締結すること。

※筋交パイプの各交点は  
自在クランプで締結すること。

橋本平1号橋			
工事名	令和5年度橋越橋梁補修設計業務		
図面名	橋本平1号橋 足場工図(参考図)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	13 / 16
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		